

Co-MaMeについて

キーワード：心理面・行動面・適応面の困難、不登校、発達障害の二次障害

研修会の流れ(予定)

○Co-MaMe についての説明 【全体】

○ワーク

① シートへの記入 【個人】

② 情報の共有・協議 【グループ】

③ 情報共有 【全体】

連続性のある 多相的多階層支援

Continuous Multiphase and Multistage educational support

Co-MaMe: こまめ

『こころの病気』等のある児童生徒のこまめな実態把握と支援の検討をサポートするツールであり、複数の教職員が細やかに協議・共有し、チーム学校としての協働を可能にする支援プラットフォーム

精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育ニーズ

・教育的ニーズ40項目（6カテゴリー）

領域	項目
A.心理	A1 不安・悩み,A2 感情のコントロール,A3 こだわり,A4 意欲・気力 A5 自己理解,A6 気持ちの表現,A7 情緒の安定,A8 気分の変動,A9 自信
B.社会性	B1 集団活動,B2 社会のルールを理解,B3 コミュニケーションスキル B4 同年代との関係,B5 家族との関係,B6 教師との関係 B7 異性との関係,B8 他者への信頼,B9 他者への相談,B10 他者理解
C.学習	C1 学習状況,C2 処理能力,C3 聞き取り・理解力,C4 読み・書き C5 記憶力,C6 注意・集中,C7 学習への意識,C8 経験
D.身体	D1 身体症状・体調,D2 巧緻性,D3 動作・体力,D4 多動性,D5 感覚過敏
E.学校生活	E1 見通し,E2 物の管理,E3 登校・入室への抵抗感
F.自己管理	F1 睡眠・生活リズム,F2 食事,F3 服薬,F4 病気の理解,F5 ストレスへの対処

教育的ニーズをもとに、特別支援学校（病弱）に勤務する教員304名から支援・配慮についての情報を得る（平成29～30年度）

項目内での支援の連続性

受容期

教員(担任)から、気持ちを落ち着かせて共感や受容をしながら、活動する上での土台を築く時期

試行期

教員(担任)との関わりの中で、気持ちや行動の振り返りを行いながら、少しずつ取り組む時期

安定期

友達や社会との関わりの中で、自分にあった対処方法を見つけて行いながら、目標に向けて取り組む時期

A1. 不安・悩み

【支援のイメージ図】

課題

- ・不安が強いため教室に入れず、強迫的な行為や暴言・暴力がある
- ・見通しをもてずに自信がなく、新しい活動を嫌がる
- ・心配が強くて経験の幅が広がらないため、進路に不安がある

受容期

* 気持ちを聞く

- ・話したい時にじっくり聴き、認める
- ・イライラすること等、感情を言葉にできるようにする

* 共感、理解する

- ・その時に出来ていることをほめる
- ・否定的な言葉を使わずに接する

* 無理なく好きな活動ができるようにする

- ・本人が好きな活動を行う
- ・授業はゆったり進めて会話を増やし、学習量を減らす
- ・不安になりやすい場所、時間は避ける

* 相談しながら行えるようにする

- ・行ったことを振り返り、落ち着ける方法や対処の仕方を一緒に考える
- ・不安や困難さを具体的に相談して共有していく

* 見通しをもたせる

- ・学校のルール・日程、活動内容を板書や手元で視覚的に提示する
- ・初めて体験すること、場所、内容を詳しく説明

* スモールステップで行う学習設定

- ・一つ一つ教見本を見せたり、練習したりしてから行う
- ・少しずつ離れて一人で活動できるように見守る

* 目標を設定して学習

- ・目標を細かく設定し、達成したら変容に気付かせる
- ・目標をクリアできない原因やその対策を考えさせる

安定期

* 対処方法を考えて取り組めるようにする

- ・ロールプレイを行い、不適切な行動を考えて練習する
- ・あらかじめ対策を立てられるようなスキルを身につける

* 将来に向けて学習する

- ・高校進学についての知識を身につけられるようにする
- ・実習で困った場合の対応方法を身につけられるようにする

課題

- ・学校に行くことや、人と関わることが怖く、同学年の友だちに全く会えない。
- ・一対一の取組はできるが、教室に入れず、集団の活動ができない
- ・地元校での登校に抵抗が強い

受容期

* 学習場所を柔軟に変更する

- ・他の児童生徒と会わない場所等、実態に合わせて場所を変更する
- ・体調に合わせて休憩しながら個室で学習する

* 共感、理解する

- ・気持ち受け入れて、信頼関係を築いていく

* 無理なく好きな活動ができるようにする

- ・簡単に好きな内容で学習したり、楽しい経験したりする

試行期

* 相談しながら行えるようにする

- ・イライラした時の行動や学習内容、座席の位置等を相談していく

* 友達と関わるようにする

- ・友達の様子を伝えたり、友達が登校を誘ったりする

* 少しずつ集団活動に参加していく

- ・小集団や時間を決めて少しずつ参加していく

安定期

* 役割を持たせて活動する設定

- ・学級で取り組んでいることに役割をもたせる

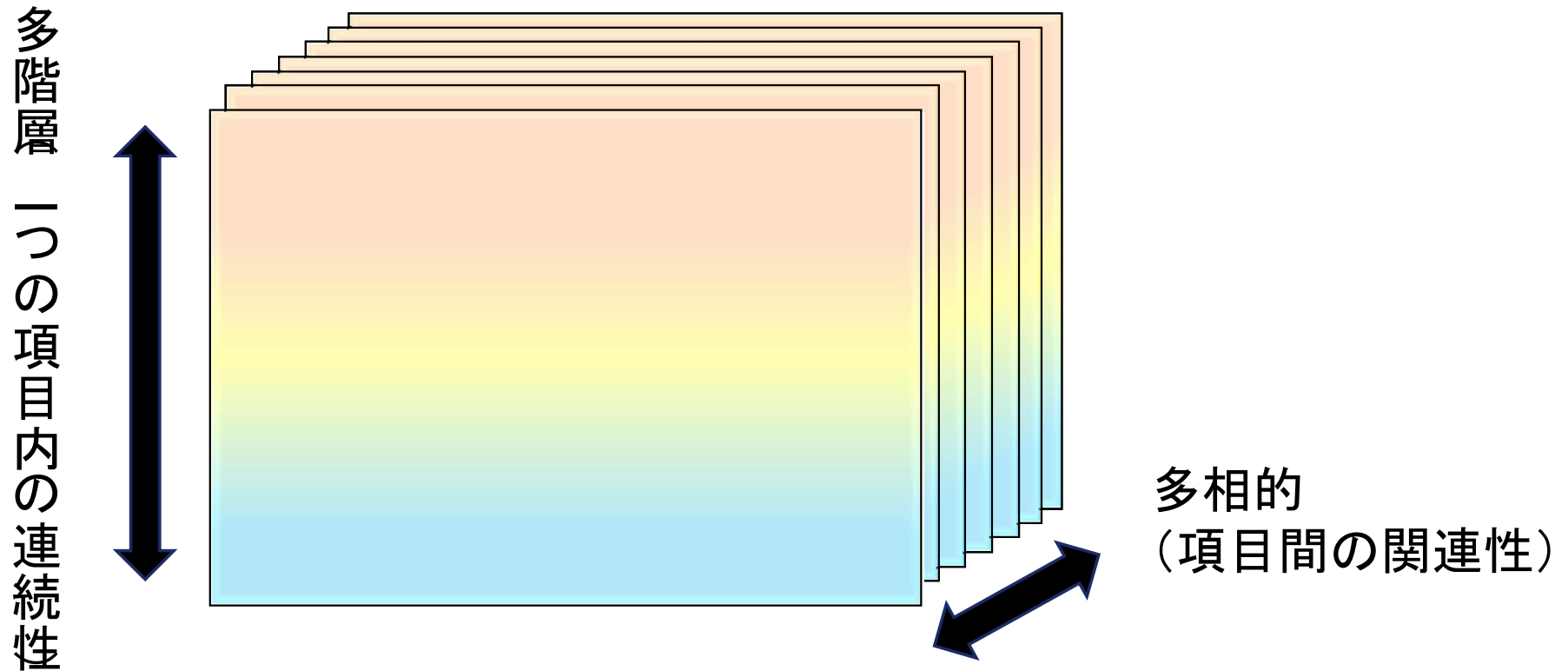
* 自分から伝えられるようにする

- ・体調が悪い時、イライラする時は自分から伝えられる

* 将来に向けて取り組む

- ・将来の自分を想像し、地元の学校での生活習慣に必要な力を身につける

Co-MaMe



・「教育的ニーズ」のそれぞれの項目を児童生徒の状況に応じて関連させながら支援を実施 ➡ 多相的支援

・「教育的ニーズ」の項目内において、児童生徒の状態に応じて変化させながら支援を実施 ➡ 多階層支援

アセスメントシートで実態把握し、 支援・配慮のイメージ図で支援・配慮を具体的に検討

教育的ニーズが記載された【アセスメントシート】

【支援のイメージ図】

A 心理	チェック	
	①	②
A1 不安・悩み (不安が強い、悩みが頭から離れない)		
A2 感情のコントロール (気持ちを抑えられない、すぐに怒ってしまう)		
A3 こだわり (一つのことにこだわると他のことが考えられない)		
A4 意欲・気力 (目標がもてない、やる気がおきない)		
A5 自己理解 (何が幸いのか自分でも分からない)		
A6 気持ちの表現 (気持ちを言葉・文字に表せない)		
A7 情緒の安定 (嫌なことを思い出してしまう、イライラする)		
A8 気分の変動 (気分の浮き沈みがある)		
A9 自信 (自分に自信がない、自己肯定感が低い)		

C 学習	チェック	
	①	②
C1 学習状況 (勉強の仕方が分からない)		
C2 処理能力 (書きながら聞くなど、2つの作業を同時に行えない)		
C3 聞き取り・理解力 (話を聞いても理解できない、指示内容が分からない)		
C4 読み・書き (文章を読むのが苦手、漢字を正しく書けない)		
C5 記憶力 (すぐに忘れてしまう)		
C6 注意・集中 (集中が続かない、気が散って集中できない)		
C7 学習への意識 (嫌いな教科に出たくない)		
C8 経験 (生活経験が低い)		

E 学校生活	チェック	
	①	②
E1 見通し (予定の変更が受け入れられない)		
E2 物の管理 (忘れ物が多い、物をなくしてしまう)		
E3 登校・入室への抵抗感 (学校に行きたくない、教室に入れない)		

B 社会性	チェック	
	①	②
B1 集団活動 (集団の中にいると疲れる、ルールに従えない)		
B2 社会のルール理解 (学校や社会の規則を守れない、自分で変更する)		
B3 コミュニケーションスキル (あいづちがうてない、人の話が聞けない)		
B4 同年代との関係 (相手のことを考えた言動ができずトラブルになる)		
B5 家族との関係 (家族との関係がうまくいかない)		
B6 教師との関係 (教師を信用しない、教師とトラブル)		
B7 異性との関係 (異性との関係がうまくいかない)		
B8 他者への信頼 (人が信用できない、人と関わりたいくない)		
B9 他者への相談 (困った時に相談できない)		
B10 他者理解 (表情や態度から気持ちが読み取れない)		

D 身体	チェック	
	①	②
D1 身体症状・体調 (お腹や頭が痛い、過呼吸や嘔きがおこる)		
D2 巧緻性 (手先を使って操作することが指示通りできない)		
D3 動作・体力 (体力がない、動きがはやくできない)		
D4 多動性 (じっとしてられない、待てない)		
D5 感覚過敏 (においに敏感、大きな声が嫌)		

F 自己管理	チェック	
	①	②
F1 睡眠・生活リズム (朝起きられず遅刻してしまうことが多い)		
F2 食事 (給食が食べられない、外食ができない)		
F3 服薬 (薬が手離せない、薬の管理が面倒)		
F4 病気の理解 (自分自身の病状を理解していない)		
F5 ストレスへの対処 (ストレスへの対処、苦手なことから逃れたい)		



ワークの流れ

ワークの流れ

シートへの記入（個人）



情報の共有・協議（グループ）



情報共有（全体）

シートに記入しましょう
(個人)

アセスメントシートへの記入(個人)

A 心理	チェック	
	①	②
A1 不安・悩み (不安が強い、悩みが頭から離れない)		
A2 感情のコントロール (気持ちを抑えられない、すぐに怒ってしまう)		
A3 こだわり (一つのことにこだわると他のことが考えられない)		
A4 意欲・気力 (目標がもてない、やる気がおきない)		
A5 自己理解 (何が辛いのか自分でも分からない)		
A6 気持ちの表現 (気持ちを言葉・文字に表せない)		
A7 情緒の安定 (嫌なことを思い出してしまう、イライラする)		
A8 気分の変動 (気分の浮き沈みがある)		
A9 自信 (自分に自信がない、自己肯定感が低い)		

支援している(いた)ある一人の
児童生徒に当てはまる教育的
ニーズに「○」

A「心理」～F「自己管理」まで
当てはまる教育的ニーズすべてに「○」

優先して取り組む、
教育的ニーズを3つほど決め、「◎」

整理用シートへの記入（個人）

整理用シート		参考例
教育的ニーズの項目を1つ選び(◎の項目等)、記号と名称を記入。		記入欄
①教育的ニーズの項目	D1	身体症状・体調
②具体的な課題内容	不安な気持ちになると、かゆみや痛みを訴えて、学習に取り組めなくなる。	
③支援・配慮等のねらい	不安や痛み等について相談したり、好きな活動をしたりすることで、安心感をもつ。 今、行う支援・配慮のねらいを記入。	
④教育的支援・配慮 【Co-MaMeの図を参考】	・不安な気持ちや、痛みやかゆみについていつでも相談できるようにして、焦りを感じたり、罪悪感をもったりしないようにする。 ・痛みやかゆみを気にせずに取り組めるように、本人が興味をもって取り組める内容を授業に取り入れる。 * Co-MaMeの図を参考した支援・配慮 ・本人の状態から〔受容期〕の取組を行う必要があり、気持ちを落ち着かせて共感や受容する支援を行っている ・不安なことは何かじっくりと聞く ・運動を行い頭痛や腹痛から思考をそらす 学校生活で実際に行った、または行っている取組等を記入。 「支援のイメージ図」から記入。	

情報の共有・協議について (グループ)

A先生



教室に入り
なさい

B先生



そうか。つらいね。
調子の良いとき、
教室に入ろうね。



教室に入り
たくない！

A先生



将来のことを考えると、教室に入るのが大切だと思う

B先生



嫌がっているから、気持ちを尊重してあげよう



友達と会うの怖い...

教室に入るの無理...

アセスメントシートでの実態把握違い

A先生

B先生

A 心理		チェック	
		①	②
A1 不安・悩み	(不安が強い、悩みが解消されない)	☒	
A2 感情のコントロール	(感情を抑えられない、すぐに怒ってしまう)		
A3 こだわり	(一つのことにとこだわる、他のことが考えられない)		
A4 意欲・気力	(意欲がもてない、やる気がおきない)		
A5 自己理解	(何が正しいのか自分でも分からない)		
A6 気持ちの表現	(気持ちを言葉・文字に表せない)	☒	
A7 情緒の安定	(嫌なことを思い出し、イライラする)	☒	
A8 気分の変動	(気分の浮き沈みがある)		
A9 自信	(自分に自信がない、自己肯定感が低い)	☒	

C 学習		チェック	
		①	②
C1 学習状況	(勉強の仕方が分からない)	☒	
C2 処理能力	(書きながら聞くなど、2つの作業を同時に行えない)	☒	
C3 聞き取り・理解力	(話を聞いても理解できない、指示内容が分からない)	☒	
C4 読み・書き	(文章を読むのが苦手、漢字を正しく書けない)		
C5 記憶力	(すぐに忘れてしまう)	☒	
C6 注意・集中	(集中が難しい、気が散って集中できない)	☒	
C7 学習への意欲	(楽しい教材に出たくない)	☒	
C8 経験	(生活経験が低い)		

E 学校生活		チェック	
		①	②
E1 見通し	(予定の変更が受け入れられない)		
E2 物の管理			
E3 登校・入室への抵抗感	(学校に行きたくない、教室に入れない)	☒	

B 社会性		チェック	
		①	②
B1 集団活動	(集団の中にいると疲れる、ルールに従えない)	☒	
B2 社会のルールの理解	(学校や社会の規則を守れない、自分で決断する)		
B3 コミュニケーションスキル	(あいづちがうまくない、人の話が聞けない)	☒	
B4 同年代との関係	(相手のことを考えた言動ができずトラブルになる)		
B5 家族との関係	(家族との関係がうまくいかない)		
B6 教師との関係	(教師を尊重しない、教師とトラブル)	☒	
B7 異性との関係	(異性との関係がうまくいかない)		
B8 他者への信頼	(人が信用できない、人と関わらたくない)		
B9 他者への相談	(困った時に相談できない)		
B10 他者理解	(表情や態度から気持ちを読めない)		

D 身体		チェック	
		①	②
D1 身体症状・体調	(お腹痛い、頭痛やめまいがある)	☒	
D2 巧緻性	(手先を使って操作することが難しい)		
D3 動作・体力	(力が入らない、動きがゆっくりできない)		
D4 多動性	(じっとしてられない、静でない)		
D5 感覚過敏	(においに敏感、大きな音が苦手)	☒	

F 自己管理		チェック	
		①	②
F1 睡眠・生活リズム	(睡眠がとれず遅刻してしまうことが多い)		
F2 食事	(食事が食べられない、作業ができない)		
F3 服薬	(薬が手帳がない、薬の管理が面倒)		
F4 病気の理解	(自分自身の病状を理解していない)		
F5 ストレスへの対処	(ストレスへの対処、苦手なことから逃げる)	☒	

A 心理		チェック	
		①	②
A1 不安・悩み	(不安が強い、悩みが解消されない)	☒	
A2 感情のコントロール	(感情を抑えられない、すぐに怒ってしまう)	☒	
A3 こだわり	(一つのことにとこだわる、他のことが考えられない)		
A4 意欲・気力	(意欲がもてない、やる気がおきない)	☒	
A5 自己理解	(何が正しいのか自分でも分からない)		
A6 気持ちの表現	(気持ちを言葉・文字に表せない)	☒	
A7 情緒の安定	(嫌なことを思い出し、イライラする)	☒	
A8 気分の変動	(気分の浮き沈みがある)	☒	
A9 自信	(自分に自信がない、自己肯定感が低い)	☒	

C 学習		チェック	
		①	②
C1 学習状況	(勉強の仕方が分からない)		
C2 処理能力	(書きながら聞くなど、2つの作業を同時に行えない)	☒	
C3 聞き取り・理解力	(話を聞いても理解できない、指示内容が分からない)		
C4 読み・書き	(文章を読むのが苦手、漢字を正しく書けない)		
C5 記憶力	(すぐに忘れてしまう)	☒	
C6 注意・集中	(集中が難しい、気が散って集中できない)	☒	
C7 学習への意欲	(楽しい教材に出たくない)		
C8 経験	(生活経験が低い)		

E 学校生活		チェック	
		①	②
E1 見通し	(予定の変更が受け入れられない)	☒	
E2 物の管理	(忘れ物が多い、物をなくしてしまう)		
E3 登校・入室への抵抗感	(学校に行きたくない、教室に入れない)	☒	

B 社会性		チェック	
		①	②
B1 集団活動	(集団の中にいると疲れる、ルールに従えない)		
B2 社会のルールの理解	(学校や社会の規則を守れない、自分で決断する)		
B3 コミュニケーションスキル	(あいづちがうまくない、人の話が聞けない)	☒	
B4 同年代との関係	(相手のことを考えた言動ができずトラブルになる)	☒	
B5 家族との関係	(家族との関係がうまくいかない)		
B6 教師との関係	(教師を尊重しない、教師とトラブル)		
B7 異性との関係	(異性との関係がうまくいかない)		
B8 他者への信頼	(人が信用できない、人と関わらたくない)	☒	
B9 他者への相談	(困った時に相談できない)	☒	
B10 他者理解	(表情や態度から気持ちを読めない)		

D 身体		チェック	
		①	②
D1 身体症状・体調	(お腹痛い、頭痛やめまいがある)	☒	
D2 巧緻性	(手先を使って操作することが難しい)		
D3 動作・体力	(力が入らない、動きがゆっくりできない)	☒	
D4 多動性	(じっとしてられない、静でない)		
D5 感覚過敏	(においに敏感、大きな音が苦手)	☒	

F 自己管理		チェック	
		①	②
F1 睡眠・生活リズム	(睡眠がとれず遅刻してしまうことが多い)	☒	
F2 食事	(食事が食べられない、作業ができない)		
F3 服薬	(薬が手帳がない、薬の管理が面倒)		
F4 病気の理解	(自分自身の病状を理解していない)		
F5 ストレスへの対処	(ストレスへの対処、苦手なことから逃げる)	☒	

課題

- ・学校に行くことや、人と関わることが怖く、同学年の友だちに全く会えない。
- ・一対一の取組はできるが、教室に入れず、集団の活動ができない
- ・地元校での登校に抵抗が強い

受容期

* 学習場所を柔軟に変更する

- ・他の児童生徒と会わない場所等、実態に合わせて場所を変更する
- ・体調に合わせて休憩しながら個室で学習する

* 共感、理解する

- ・気持ち受け入れて、信頼関係を築いていく

B先生

* 無理なく好きな活動ができるようにする

- ・簡単に好きな内容で学習したり、楽しい経験したりする

試行期

* 相談しながら行えるようにする

- ・イライラした時の行動や学習内容、座席の位置等を相談していく

* 友達と関わるようにする

- ・友達の様子を伝えたり、友達が登校を誘ったりする

* 少しずつ集団活動に参加していく

- ・小集団や時間を決めて少しずつ参加していく

安定期

* 役割を持たせて活動する設定

- ・学級で取り組んでいることに役割をもたせる

* 自分から伝えられるようにする

- ・体調が悪い時、イライラする時は自分から伝えられる

* 将来に向けて取り組む

- ・将来の自分を想像し、地元の学校での生活習慣に必要な力を身につける

A先生

A先生



B先生



教室に入り
たくない



じゃあ、
別の部屋でやる？
フリースペースに行く？
それとも保健室？

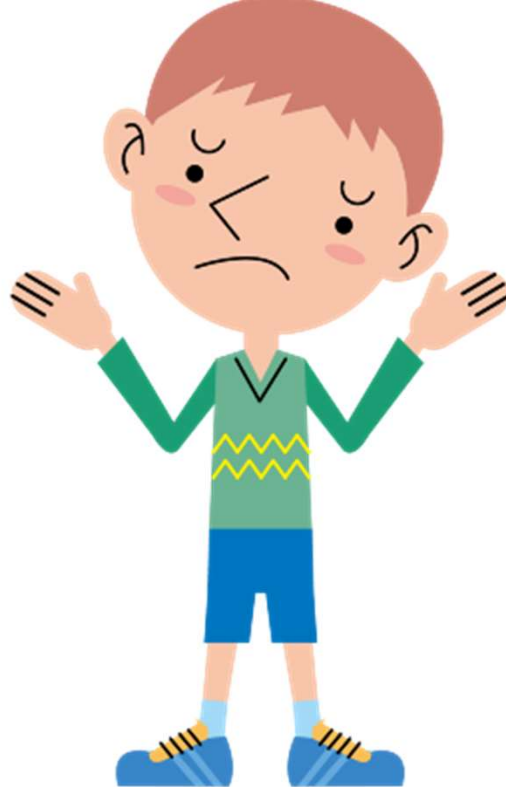
C先生



A先生



B先生



本人と相談して、
やりたい方法を決
めるのが大切だと思
う

C先生



課題

- ・学校に行くことや、人と関わることが怖く、同学年の友だちに全く会えない。
- ・一対一の取組はできるが、教室に入れず、集団の活動ができない
- ・地元校での登校に抵抗が強い

受容期

* 学習場所を柔軟に変更する

- ・他の児童生徒と会わない場所等、実態に合わせて場所を変更する
- ・体調に合わせて休憩しながら個室で学習する

* 共感、理解する

- ・気持ち受け入れて、信頼関係を築いていく

B先生

* 無理なく好きな活動ができるようにする

- ・簡単に好きな内容で学習したり、楽しい経験したりする

試行期

* 相談しながら行えるようにする

- ・イライラした時の行動や学習内容、座席の位置等を相談していく

* 友達と関わるようにする

- ・友達の様子を伝えたり、友達が登校を誘ったりする

C先生

* 少しずつ集団活動に参加していく

- ・小集団や時間を決めて少しずつ参加していく

それぞれ
支援や考えが
異なる

安定期

* 役割を持たせて活動する設定

- ・学級で取り組んでいることに役割をもたせる

* 自分から伝えられるようにする

- ・体調が悪い時、イライラする時は自分から伝えられる

* 将来に向けて取り組む

- ・将来の自分を想像し、地元の学校での生活習慣に必要な力を身につける

A先生

アセスメントシートで実態把握し、 支援・配慮のイメージ図で支援・配慮を具体的に検討

教育的ニーズが記載された【アセスメントシート】

【支援・配慮のイメージ図】

A 心理	チェック	
	①	②
A1 不安・悩み (不安が強い、悩みが頭から離れない)		
A2 感情のコントロール (気持ちを抑えられない、すぐに怒ってしまう)		
A3 こだわり (一つのことにとこだわると他のことが考えられない)		
A4 意欲・気力 (目標がもてない、やる気がおきない)		
A5 自己理解 (何が正しいのか自分でも分からない)		
A6 気持ちの表現 (気持ちを言葉・文字に表せない)		
A7 情緒の安定 (嫌なことを思い出してしまう、イライラする)		
A8 気分の変動 (気分の浮き沈みがある)		
A9 自信 (自分に自信がない、自己肯定感が低い)		

C 学習	チェック	
	①	②
C1 学習状況 (勉強の仕方が分からない)		
C2 処理能力 (書きながら聞くなど、2つの作業を同時に行えない)		
C3 聞き取り・理解力 (話を聞いても理解できない、指示内容が分からない)		
C4 読み・書き (文章を読むのが苦手、漢字を正しく書けない)		
C5 記憶力 (すぐに忘れてしまう)		
C6 注意・集中 (集中が続かない、気が散って集中できない)		
C7 学習への意識 (嫌いな教科に出たくない)		
C8 経験 (生活経験が低い)		

E 学校生活	チェック	
	①	②
E1 見通し (予定の変更が受け入れられない)		
E2 物の管理 (忘れ物が多い、物をなくしてしまう)		
E3 登校・入室への抵抗感 (学校に行きたくない、教室に入れない)		

B 社会性	チェック	
	①	②
B1 集団活動 (集団の中にいると疲れる、ルールに従えない)		
B2 社会のルール理解 (学校や社会の規則を守れない、自分で変更する)		
B3 コミュニケーションスキル (あいづちがうてない、人の話が聞けない)		
B4 同年代との関係 (相手のことを考えた言動ができずトラブルになる)		
B5 家族との関係 (家族との関係がうまくいかない)		
B6 教師との関係 (教師を信用しない、教師とトラブル)		
B7 異性との関係 (異性との関係がうまくいかない)		
B8 他者への信頼 (人が信用できない、人と関わりたくない)		
B9 他者への相談 (困った時に相談できない)		
B10 他者理解 (表情や態度から気持ちが読み取れない)		

D 身体	チェック	
	①	②
D1 身体症状・体調 (お腹や頭が痛い、過呼吸や嘔きがおこる)		
D2 巧緻性 (手先を使って操作することが指示通りできない)		
D3 動作・体力 (体力がない、動きがはやくできない)		
D4 多動性 (じっとしてられない、待てない)		
D5 感覚過敏 (においに敏感、大きな声が嫌)		

F 自己管理	チェック	
	①	②
F1 睡眠・生活リズム (朝起きられず遅刻してしまうことが多い)		
F2 食事 (給食が食べられない、外食ができない)		
F3 服薬 (薬が手離せない、薬の管理が面倒)		
F4 病気の理解 (自分自身の病状を理解していない)		
F5 ストレスへの対処 (ストレスへの対処、苦手なことから逃れたい)		



課題

- ・学校に行くことや、人と関わることが怖く、同学年の友だちに全く会えない。
- ・一対一の取組はできるが、教室に入れず、集団の活動ができない
- ・地元校での登校に抵抗が強い

受容期

* 学習場所を柔軟に変更する

- ・他の児童生徒と会わない場所等、実態に合わせて場所を変更する
- ・体調に合わせて休憩しながら個室で学習する

* 共感、理解する

- ・気持ち受け入れて、信頼関係を築いていく

支援の時期から考える

試行期

* 相談しながら行えるようにする

- ・イライラした時の行動や学習内容、座席の位置等を相談していく

* 友達と関わるようにする

- ・友達の様子を伝えたり、友達が登校を誘ったりする

* 少しずつ集団活動に参加していく

- ・小集団や時間を決めて少しずつ参加していく

安定期

* 役割を持たせて活動する設定

- ・学級で取り組んでいることに役割をもたせる

* 自分から伝えられるようにする

- ・体調が悪い時、イライラする時は自分から伝えられる

* 将来に向けて取り組む

- ・将来の自分を想像し、地元の学校での生活習慣に必要な力を身につける

アセスメントシートで実態把握し、 支援・配慮のイメージ図で支援・配慮を具体的に検討

教育的ニーズが記載された【アセスメントシート】

【支援・配慮のイメージ図】

A 心理	チェック	
	①	②
A1 不安・悩み (不安が強い、悩みが頭から離れない)		
A2 感情のコントロール (気持ちを抑えられない、すぐに怒ってしまう)		
A3 こだわり (一つのことにこだわると他のことが考えられない)		
A4 意欲・気力 (目標がもてない、やる気がおきない)		
A5 自己理解 (何が正しいのか自分でも分からない)		
A6 気持ちの表現 (気持ちを言葉・文字に表せない)		
A7 情緒の安定 (嫌なことを思い出してしまう、イライラする)		
A8 気分の変動 (気分の浮き沈みがある)		
A9 自信 (自分に自信がない、自己肯定感が低い)		

C 学習	チェック	
	①	②
C1 学習状況 (勉強の仕方が分からない)		
C2 処理能力 (書きながら聞くなど、2つの作業を同時に行えない)		
C3 聞き取り・理解力 (話を聞いても理解できない、指示内容が分からない)		
C4 読み・書き (文章を読むのが苦手、漢字を正しく書けない)		
C5 記憶力 (すぐに忘れてしまう)		
C6 注意・集中 (集中が続かない、気が散って集中できない)		
C7 学習への意識 (嫌いな教科に出たくない)		
C8 経験 (生活経験が低い)		

E 学校生活	チェック	
	①	②
E1 見通し (予定の変更が受け入れられない)		
E2 物の管理 (忘れ物が多い、物をなくしてしまう)		
E3 登校・入室への抵抗感 (学校に行きたくない、教室に入れない)		

B 社会性	チェック	
	①	②
B1 集団活動 (集団の中に入ると疲れる、ルールに従えない)		
B2 社会のルール理解 (学校や社会の規則を守れない、自分で変更する)		
B3 コミュニケーションスキル (あいづちがうてない、人の話が聞けない)		
B4 同年代との関係 (相手のことを考えた言動ができずトラブルになる)		
B5 家族と (家族と)		
B6 教師 (教師と)		
B7 異性 (異性と)		
B8 他 (人と)		
B9 他 (人と)		
B10 他 (人と)		

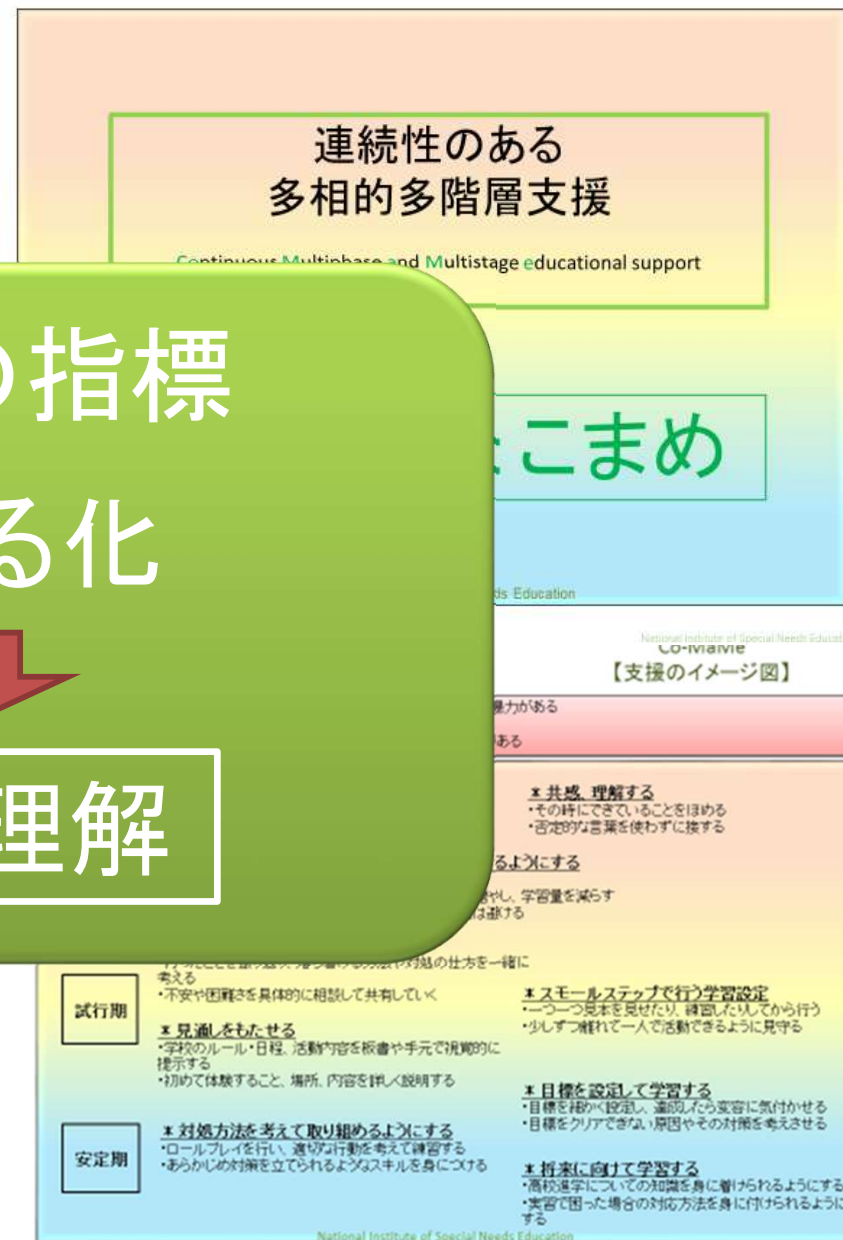
D1 身 (おと)		
D2 巧 (手先)		
D3 動 (体力)		
D4 多 (じっ)		
D5 感 (にお)		

F 自己管理	チェック	
	①	②
F1 睡眠・生活リズム (朝起きられず遅刻してしまうことが多い)		
F2 食事 (給食が食べられない、外食ができない)		
F3 服薬 (薬が手離せない、薬の管理が面倒)		
F4 病気の理解 (自分自身の病状を理解していない)		
F5 ストレスへの対処 (ストレスへの対処、苦手なことから逃れたい)		

共通の指標
見える化



共通理解



A先生



B先生



共通理解した
方法でやってみよう

C先生



情報の共有・協議（グループ）

グループ内で、それぞれが記入した
シートをもとに情報共有・意見交換する

1. 司会者・発表者を決める。
2. 記入したシートをもとに話し合う。

- ・「◎」をつけた理由
- ・ Co-MaMeのどこを参考にしたのか
- ・ 共通点はどこか、相違点はどこか
- ・ どのような支援方法が考えられるか

等々

※「受容期」「試行期」「安定期」（支援の時期）を意識
して協議

情報共有しましょう(全体)

Co-MaMe



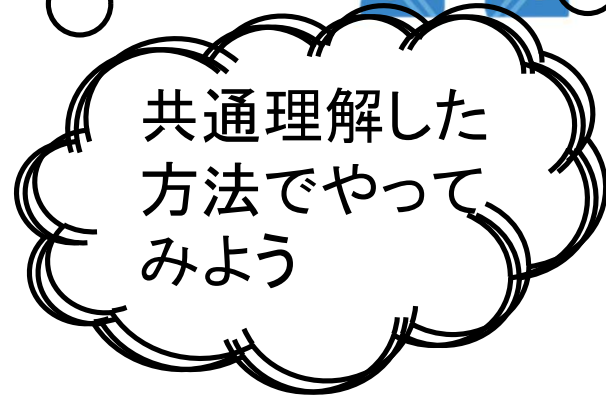
「Co-」 = 連携して（教員間・関係者間）

「MaMe」 = まめに（実態把握・支援等）

病気のある子供に共通

「Co-」 = 連携して【教員間で】

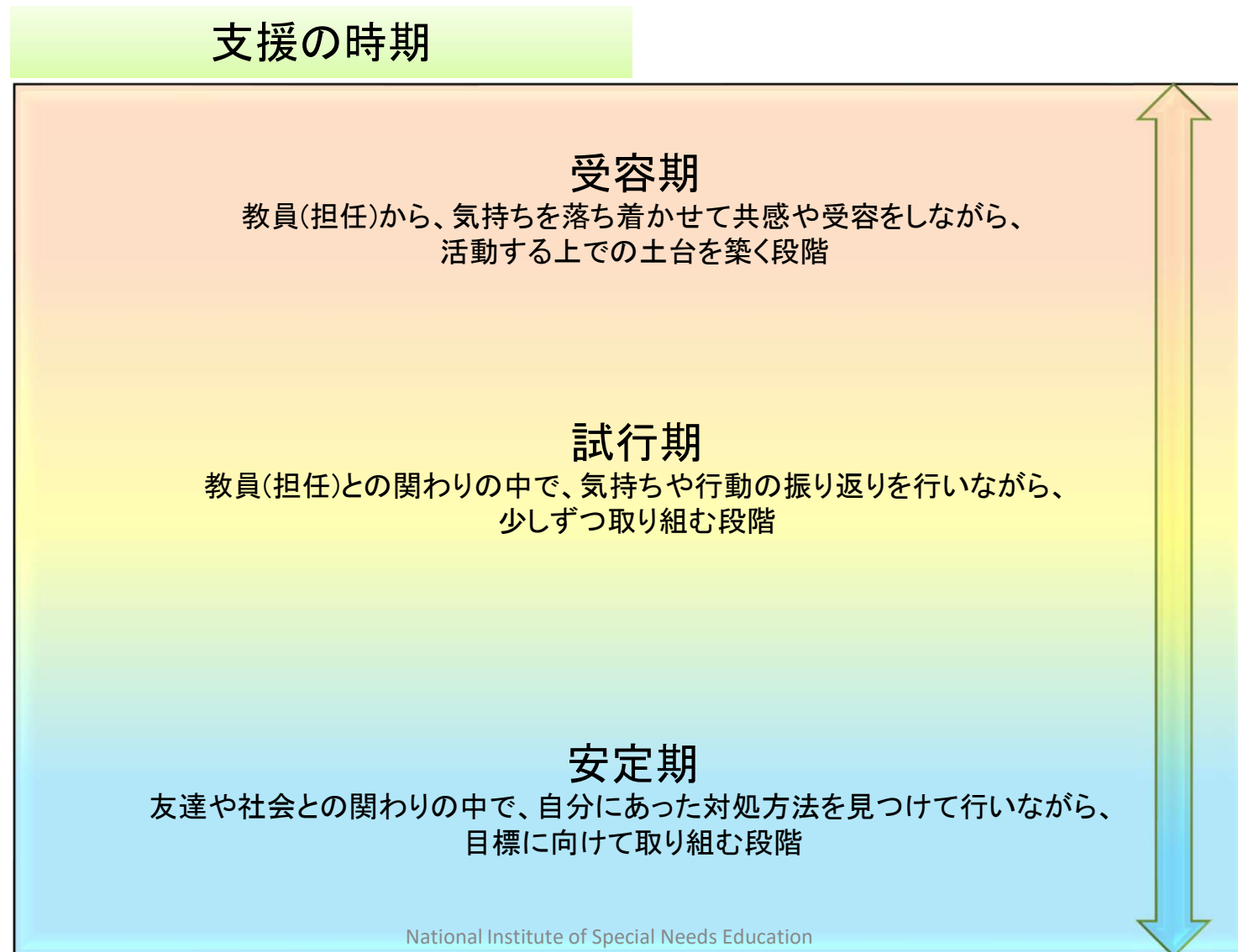
A先生



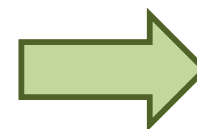
B先生



「MaMe」＝まめに【実態把握や支援】



* Co-MaMeに関する資料がダウンロードできます。



チーム支援

連続性のある 多相的多階層支援

Continuous Multiphase and Multistage educational support

Co-MaMe: こまめ

複数の教職員が細やかに協議・共有し、チーム学校としての
協働を可能にする支援プラットフォーム

National Institute of Special Needs Education



詳しくは「Co-MaMeガイド」（ジアース教育新社）をご覧ください

